

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社ヤマダデンキ (旧 株式会社ヤマダ電機)					
代表者名	氏名	上野 善紀	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	群馬県高崎市栄町1番1号					
主たる事業の分類	大分類	I 卸売・小売業				
	中分類	59 機械器具小売業				
主たる事業の概要	国内有名メーカーおよび海外有名メーカーの家庭電化製品ならびにオーディオ機器・健康器具・介護関連機器・OA機器の販売と修理、ビデオソフトレンタル、ソフトセル、書籍の販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外 (任意提出) の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,702	2,620	1,821	1,960	2,246
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,874	4,727	3,302	3,550	4,053
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0	0	0	0	0
自動車の台数	台	17	17	17	48	48
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	127	122	122	122	122

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

3 計画書(報告書)の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	問い合わせ等があった場合に公表 問合せ先：総務部 消耗品水光熱管理課 (027-345-8810) 問合せ可能時間：平日10～12時、14～17時
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

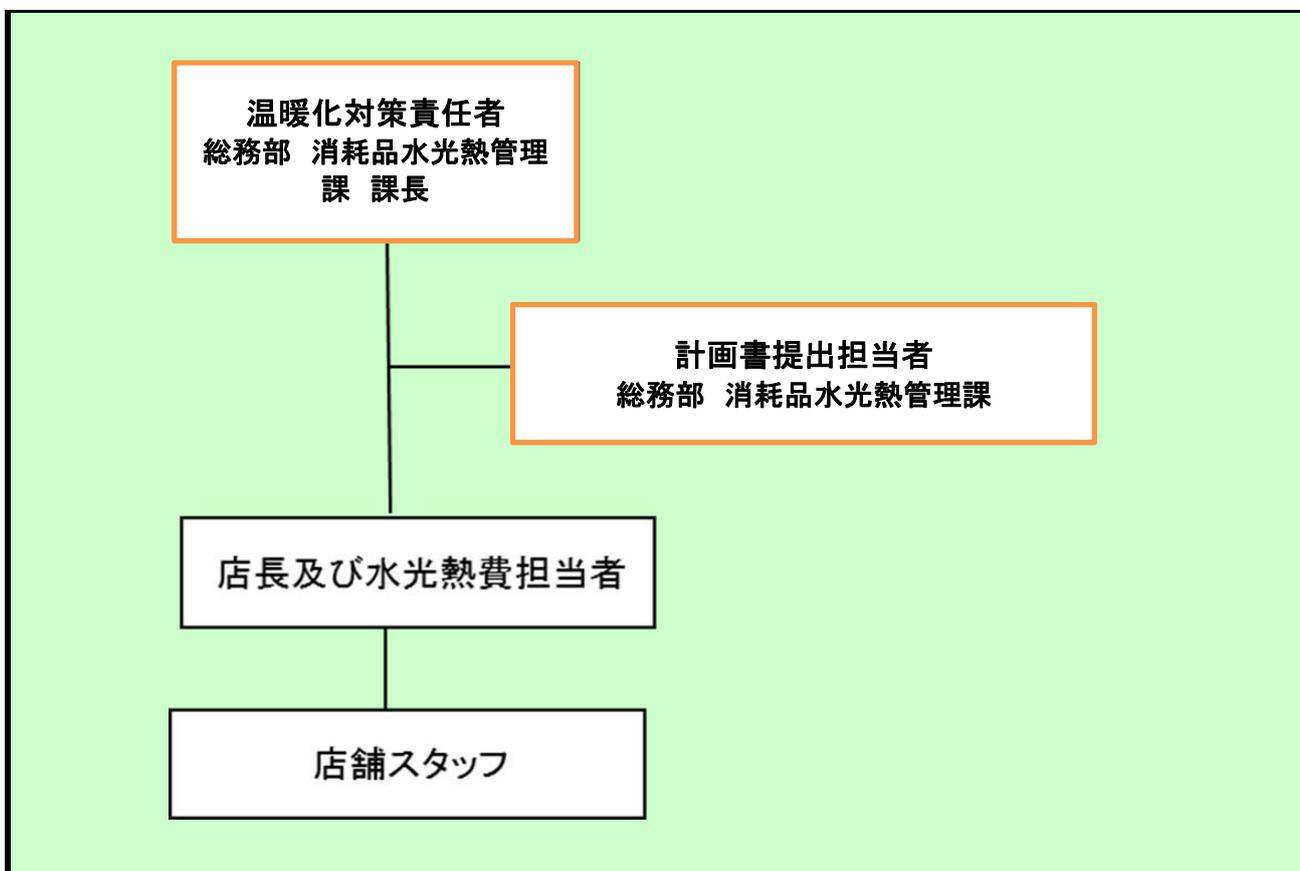
4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

＜環境に関する基本方針＞
環境問題は早急に取組むべき人類共通の重大な課題であると認識し、省エネルギー・リサイクル等の活動に積極的に取り組みます。

＜行動指針＞

- ①環境に関する法規制を遵守し、自らの社会的な責任を踏まえて地球環境保全および環境負荷低減に向けた事業活動を推進します。
- ②すべての事業活動を通じて環境影響の把握を進め、事業活動を通じて発生する環境負荷の低減に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。
- ③本業を通じて社会全体での地球環境保全に寄与するサービスおよび製品の販売を推進します。環境に係る問題に関する学習を通じて、一人ひとりが責任をもって自発的に行動できるようにします。
- ④お客様や地域の皆様との連携を進めながら、地球環境保全に向けた取り組みを進め、積極的に情報開示をします。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

なし

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,874	t-CO ₂	延床面積	104.80	単位	千m ²
2019年度	調整後排出量	4,550	t-CO ₂	基準原単位	46.51	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量	4,727	t-CO ₂	目標原単位	45.11	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ法で定める削減目標を採用						
第一年度	排出量	3,302	t-CO ₂	延床面積	104.80	単位	千m ²
	削減率	32.25	%	原単位	31.51	t-CO ₂ /	千m ²
2020年度	調整後排出量	2,962	t-CO ₂	原単位削減率	32.25	%	
	削減率	39.22	%				
排出量等の増減理由	エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御、照明のタイマー化、調光装置の活用による照明電力の削減効果が出ている。						
第二年度	排出量	3,550	t-CO ₂	延床面積	117.99	単位	千m ²
	削減率	27.16	%	原単位	30.09	t-CO ₂ /	千m ²
2021年度	調整後排出量	3,277	t-CO ₂	原単位削減率	35.30	%	
	削減率	32.76	%				
排出量等の増減理由	エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御、照明のタイマー化、調光装置の活用による照明電力の削減効果が出ている。						
第三年度	排出量	4,053	t-CO ₂	延床面積	147.30	単位	千m ²
	削減率	16.84	t-CO ₂	原単位	27.52	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	調整後排出量	3,716	t-CO ₂	原単位削減率	40.82	%	
	削減率	23.75	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御、照明のタイマー化、調光装置の活用による照明電力の削減効果が出ている。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	127	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	122	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率	3.93	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	130101	空調温度管理の徹底	2020～ 2022	6	2020～ 2022	4
2	エネ起	130105	空調稼働時間の抑制	2020～ 2022	6	2020～ 2022	4
3	エネ起	150202	調光設定の変更	2020～ 2022	6	2020～ 2022	
4	エネ起	150204	点灯時間、点灯率の抑制	2020～ 2022	6	2020～ 2022	4
5	エネ起	150201	インバータ蛍光灯やLEDの照明への改修を検討する	2020～ 2022	44	2020～ 2022	30
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	19	4,874	19	3,302	20	3,550	21	4,053
合計	19	4,874	19	3,302	20	3,550	21	4,053

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	17	17	48	48
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	
自転車の利用促進	
来客者の交通対策	
物流の合理化	

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2020
	名称	ISO14001	
<input checked="" type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		2020
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

基準年度以前の取組みとして、エネルギーの見える化装置の設置、空調の自動制御による徹底空調稼働時間の抑制、照明のタイマー化や調光装置の活用による照明電力の削減など積極的な省エネ施策を実施してきた。環境マネジメントシステム ISO14001 株式会社ヤマダデンキの本社機能が2021年3月に導入している。TCFD提言に関しては親会社のヤマダホールディングスが2021年3月より賛同している。